

いんさい

No.191

2020. 2. 15

議会だより

探検！僕たちの未来を

(社会科見学／国会議事堂)





P 2～ 空家等の適切な管理に関する条例を制定

P 4 12月定例会
質問者一覧

P 5～ 一般質問
個人質問16人

P 13 陳情
印旛管内市議会視察
研修会

P 14～ 各常任委員会の審査
建設経済常任委員会
文教福祉常任委員会
総務企画常任委員会

P 17 補正予算の審査
予算審査常任委員会

P 18 議案と審議結果一覧

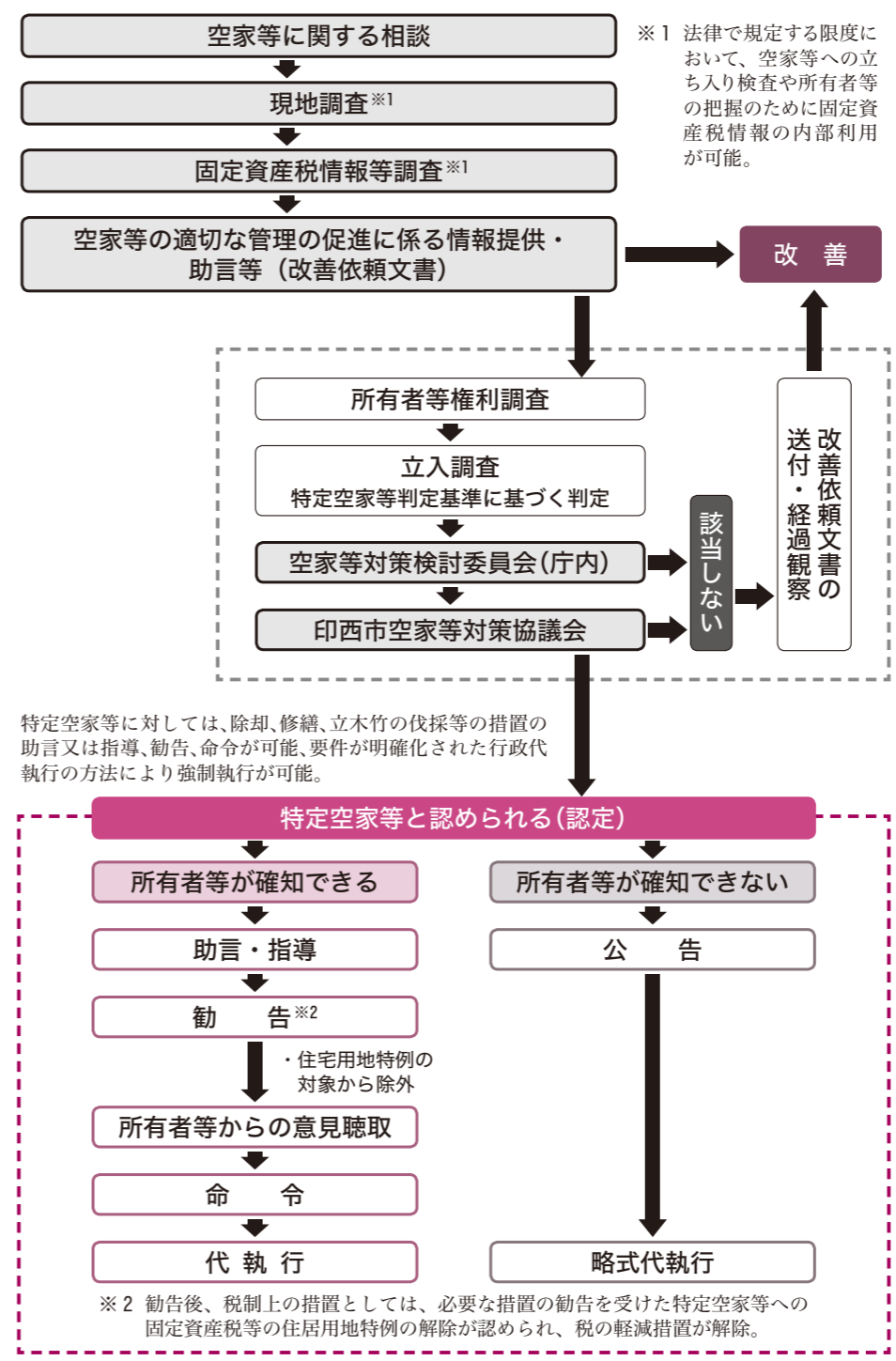
P 19～ 委員会視察報告
行政視察に来庁
編集後記

P 23 新人議員のコーナー

P 24 市民の声
次回定例会のお知らせ

空家等の適切な管理に関する条例を制定

空家等対策の推進に関する特別措置法による措置の流れ



特定空家等とは…倒壊等保安上危険となる恐れ、衛生上有害となる恐れ、景観を損なっている状態、生活環境の保全を図るために放置することが不適切であると市が認めた空家等

空家等の適切な管理に

令和2年
4月1日施行

空家等とは…1年間を通して人の出入りがなく、水道・電気・ガスの使用実態がない建築物

空家対策に乗り出す
生活環境の保全や安全で安心なまちづくりのため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に定められています。しかし、特別措置法の手続には時間がかかるため、緊急対応が必要な時に補完するものとして、「空家等の適切な管理に関する条例」で必要な事項を定めました。

<p>POINT ① 第1項 空家等が、地域住民の生命、財産に重大な損害を及ぼす危険な状態が切迫し、かつ、所有者等が必要措置を講ずることができない場合、必要最小限度の措置を講ずることができる。</p>	<p>条文の内容 第1条：目的 第2条：定義 第3条：所有者等の責務 第4条：市の責務 第5条：市民の協力 第6条：情報提供 第7条：緊急安全措置 第8条：関係機関との連携 第9条：委任（必要事項は規則） 附則：令和2年4月1日施行</p>	<p>POINT ② 第2項 措置を講ずるときは、空家等の所有者等の同意を得なければならない。ただし、緊急かつやむを得ない場合は除く。</p>
		<p>POINT ③ 第3項 措置を講じたときは、空家等の所有者等から費用を徴収することができる。</p>

空家に対する市の取り組みの経緯

平成28(2016)年度～平成29(2017)年度	市職員による空家等現地調査を実施	平成28年7月～平成30年2月 空家現地調査 609件 【結果】空家の可能性高:389件 空家の可能性低:220件
平成29(2017)年度	空家の所有者等にアンケート調査を実施 結果を空家等対策計画に反映	アンケート対象：389件 回答数：149件
平成30(2018)年度	印西市空家等対策協議会設置 印西市空家等対策協議会開催	平成27年～現在 相談のあった個別案件：48件 未対応案件：13件 (適正管理の依頼継続中)
令和元(2019)年度	印西市空家等対策協議会開催 印西市空家等対策計画策定	

空家等対策の推進に関する特別措置法及びガイドラインに基づき策定

<p>印西市特定空家等判断基準 住環境への悪影響の程度、危険の切迫性や立地条件を勘案し、それを数値化した点数による判定基準を策定し、特定空家等の候補となり指導対象となるか判断する。</p>	<p>印西市空家等対策計画 適切な管理が行われていない空家等に起因する防災、衛生、景観等の諸問題に対し、空家対策の法制化を受けて、住民の身体・財産の保護・生活環境の保全・空家等の活用のための施策を実施するために策定。</p>
---	---

我が市政を問う

12月定例会は、11月29日から12月20日までの22日間、開催されました。市長提出案件は議案43件、諮問1件、報告2件、選挙管理委員及び補充員の選挙、それぞれ慎重な審議が行われました。審議結果は、18ページに掲載しています。

12月定例会

一般質問

令和元年第4回定例会では12月2日から4日間、16人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。
この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》
議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

個人質問

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 海老原 作一 ……P5 | 9. 柿原 健一 ……P9 |
| 2. 浅沼 美弥子 ……P5 | 10. 梶原 友雄 ……P9 |
| 3. 稲葉 健 ……P6 | 11. 軍司 俊紀 ……P10 |
| 4. 玉木 実 ……P6 | 12. 松尾 榮子 ……P10 |
| 5. 松本 有利子 ……P7 | 13. 増田 葉子 ……P11 |
| 6. 櫻井 正夫 ……P7 | 14. 金丸 和史 ……P11 |
| 7. 中澤 俊介 ……P8 | 15. 小川 利彦 ……P12 |
| 8. 山田 喜代子 ……P8 | 16. 藤江 研一 ……P12 |

個人質問

問 一刻を争う情報の伝達は

答 多様な手段で配信する
海老原作一 議員

質問1 避難所における電源確保の多重化をどう考えるか。
総務部長 災害時の電源確保は、重要な課題と考えており、すべての指定避難所には、発電機を配備している。電源の多重化をする予定はない。

再質問 発電機の能力は。
答弁 必要最小限の電気製品の稼働はできるが、施設の設備を稼働させる能力はない。

再質問 電力供給可能な公用車を導入する考えはないか。
答弁 情報収集しながら研究していきたい。



個人質問

問 「赤ちゃんの駅」の備蓄は

答 関係課と調整、配慮したい
浅沼美弥子 議員

質問1 災害対応の改善策を問う。避難所開設時の女性への配慮のため「組み立て式赤ちゃんの駅」を備蓄しては。
総務部長 関係課と調整し、配慮していきたい。

再質問 千年に一度の大雨を想定したハザードマップを整備するべきでは。
答弁 できる限り早急に実施していきたい。

質問2 地球温暖化対策を問う。度重なる災害に、日本も地球温暖化の被害国であることを思い知らされた。地球温



暖化防止対策の取り組みは急務だ。気候が非常事態であることを宣言する「気候非常事態宣言」をする考えはないか。
環境経済部長 現時点では考えていない。

再質問 食品ロス削減推進計画を策定する考えはないか。
答弁 国の指針を踏まえ計画の策定について検討したい。

質問3 交通安全対策を問う。
再質問 高齢ドライバーの事故予防策として後付け安全装置の普及についての考えは。
市民部長 装置の設置促進は有効な対策と認識している。

再質問 後付け安全装置の補助制度創設の考えは。
答弁 国・県の動向を注視し、後付け安全装置に関する施策について検討したい。

再質問 学校の「スクールゾーン」に準じた保育園等の「キッズゾーン」創設の考えは。
答弁 適切に対応したい。



問 子育て世代包括支援センターは

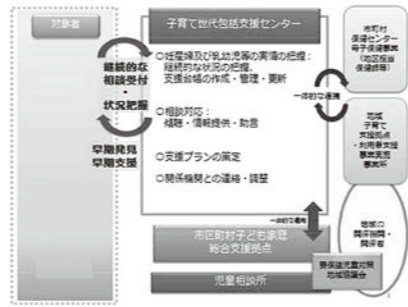
答 令和2年度中に設置の準備予定

個人質問

稲葉健議員

質問 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」が新たに規定され、市町村は同センターを設置するように努めなければならないこととされた。子育て世代包括支援センターについて市の見解を伺う。

健康子ども部長 妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、切れ目のない支援



を包括的に行う事を目的に設置する重要な施設であると認識している。

再質問 現状を問う。

答 子育てコンシェルジュによる育児相談などを実施する利用者支援事業、保健師、助産師による母子健康手帳の全数面接交付や生後4カ月までの乳児のいる家庭への全数訪問など、妊娠、出産、子育てに関する各種相談業務を各々の機関で実施している。

再質問 今後の対応は。

答 子育て支援課の基本型の利用者支援機能と、健康増進課の母子保健に関する専門的な保健センター機能をより一層緊密に連携を図り、令和2年度中の設置に向け準備をしている。将来的には(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の機能の中に、子育て世代包括支援センターの位置づけを検討していきたい。

問 災害時の医療体制整備の会議を

答 印旛地域の会議や意見交換で対応

個人質問

松本有利子議員

質問 災害時の医療体制について問う。

健康子ども部長 通常の診療体制、救急体制で対応できないと判断した場合は、印旛市郡医師会等へ医療救護班の編成・派遣・医薬品等の供給を要請し、救護活動を行う。

再質問 災害時の医療体制の整備のため、当市でも柏市の災害医療対策会議のような場が必要ではないか。

答 印旛健康福祉センター主催の「印旛地域災害医療対策会議」、「災害医療研修会」や「印旛地域災害医療訓練」等を通じて県及び医師会等と情報・意見交換を実施している。また印旛市郡医師会等各会の印旛地区代表とも情報・意見交換を実施し、連携しながら対応していく。

再質問 人の命に関わってすぐるため、市としても災害時本



か話し合いの場が必要ではないか。まずは一度、市が主導して意見交換の場をつくることを検討するべきではないか。また、災害が起きたときの医療機関の稼働状況を市は把握できる仕組みになっているか。

答 医療機関の状況は、印旛健康福祉センターと連携し情報収集し、病院については、広域災害救急医療情報システムにより確認し、診療所については、印旛市郡医師会等各会の印旛地区代表と連携し情報収集していく。

個人質問

問 審議会のレベルアップを図れ

答 幅広く市民参加を推進する

個人質問

玉木実議員

質問 法令や条例に基づく審議会の数はいくつか。

市民部長 法令2件、条例41件、規則、要綱などで33件、合計76件ある。

再質問 女性委員の登用の状況を問う。

答 市民参加条例では女性委員比率が3割以上となっているが、過去3年間はその割合には届いていない。

再質問 複数の審議会で重複している委員の選任はあるか。

答 原則同一人を重複して選任していないが、専門性により重複委員の割合は過去3年間で26%、24%、23%の状況である。

再質問 平成30年度に開催されなかった審議会はあるか。

答 18件あった。

再質問 審議会の問題や改善点にどう対処していくのか。

答 公募委員の定員割れや専門性のある人材の発掘に苦



慮している。女性委員も数値目標を定め積極的に登用に努めていく。

再質問 30年度から、審議会の管轄は、企画政策課から市民活動推進課に移されたが、市民公募委員の選任は変わったか。

答 29年度は78名。1審議会当たり1・9名の選任で、30年度は61名で1・8名と、ほぼ横ばい状態だ。様々な広報活動を駆使して、より多くの方々の声を反映するために、市民参加の推進に努める。

個人質問

問 被害がでる前に危険樹木の伐採を

答 民地の樹木伐採はむずかしい

個人質問

櫻井正夫議員

質問 9月と10月に相次いで襲来した2つの台風の強風により、市内各所で倒木による多大な被害を受けたが、あらかじめ危険とみなされる樹木を、被害の出る前に未然に伐採できるか問う。

都市建設部長 近年にない強風により多くの樹木が倒れ、一時通行止めとなった市道があった。しかし、倒れた樹木は、民地内の樹木であり、土地所有者が管理するものである。したがって、市において、未然に倒木被害を防止するた

めの伐採はむずかしい。

再質問 中学生が自転車を通学する道路にも樹木が低くたれさがっている。安全のためにも、できるだけ早く伐採の対応が出来ないか。

答 指摘の歩道は主要地方道佐倉印西線で、千葉県印旛土木事務所が管理している。指摘の状況を伝え対応を依頼している。

質問 八千代宗像線パイプ

都建設部長 指摘の冠水箇所は県道64号線で千葉県印旛土木事務所が管理している。平成30年度に歩道内に貯留浸透施設を設置したと聞いていますが、更なる冠水対策を今後予定しており、検討中と聞いている。



問 洪水ハザードマップを検証せよ

答 早期の見直しに努める
中澤 俊介 議員

質問 古来より治水は政治の要諦であり、河川の氾濫は市民の生命財産に直結する脅威といえる。本市において水害のリスクは避けては通れない行政課題と考えるが、最新のデータで洪水ハザードマップの検証をすべきではないか。
総務部長 現在公表している洪水ハザードマップは、平成23年度の防災アクセスメント調査を基に作成したものである。
再質問 前提となる降雨量を修正すべきと考えるがどうか。



答 本市の洪水ハザードマップの想定雨量は318ミリメートルとしているが、国土交通省が修正した利根川洪水浸水想定区域図では、想定し得る最大規模の降雨を491ミリメートルとしており、想定雨量に差異が生じているため、見直ししていく必要があると考えている。

再質問 前提条件が変われば避難場所や避難経路、救助体制に至る避難計画の抜本的な見直しが急務ではないか。
答 前提となる気象条件や都市開発など様々な状況も変化をしているので、早期の見直しに努めていく。

再質問 早急に最大リスクを反映したハザードマップを市民に配布すべきと考えるがどうか。
答 想定し得る最大規模の降雨でハザードマップを更新する。

個人質問

問 いつまで待つのか「ふんいの湯」

答 令和2年度中には再開させたい
山田 喜代子 議員

質問1 いこいの湯の湯の再開の見直しはどうか。
福祉部長 資産経営課で設計し、令和2年度中の再開を見込んでいる。

質問2 ヤードの実態はどうなっているのか。
環境経済部長 自動車リサイクル法に基づく解体業のヤードが県内502カ所中、市内19カ所、県条例に基づく届け出ヤードが県内308カ所中17カ所設置されている。

再質問 まちづくりにおけるヤードへの市長の認識は。
答 景観等を考慮した場合、無い方が好ましい。

質問3 きめ細やかな教育の充実について、介助員、学習指導員、日本語指導員は充分に配置されているのか問う。
教育長 各小中学校からの要望に対し75%の配置である。

再質問 人手不足の解決に向けて、国や県に要望する以外
の別の手段を考えているか。
答 働く環境や条件が少しでも良くなっていくことは、大切な事であると考えている。

質問4 学校や公民館は、長年民間から土地を賃借しているが、賃借料と算定根拠は。
総務部長 元年度の賃借料は、総合福祉センターは920万7千円。印西中は1515万円。中央公民館は678万円。総合福祉センター、印西中は土地評価額をもとに計算し、中央公民館は地権者との対話により、毎年更新している。

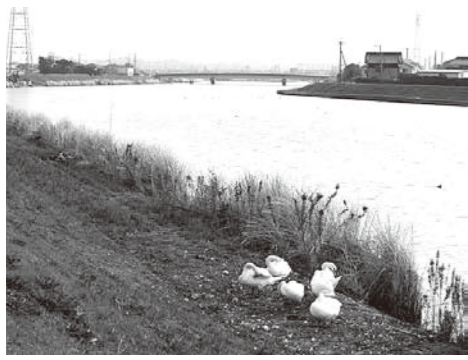


個人質問

問 観光客増を図るには重点策が必要

答 観光情報の発信に努める
柿原 健一 議員

質問 手賀沼・手賀川活用推進のためのアクションプランは、その後進展しているか。
市長 手賀沼・手賀川活用推進のためのアクションプランは手賀沼・手賀川の自然や文化の資源を活用し、観光流入増とブランド化を図り、にぎわいを創出することを目指して策定したものである。本プランでは、手賀沼・手賀川地域の中から、公共施設や民間施設が立地し、沼や川を活かした事業が展開されているエ



美しい手賀川の水辺の風景

リアを6カ所選定している。当市のエリアは「川の停車場エリア」である。主な事業の実績として「いんざいぶらり川めぐり」の乗客数は平成29年度777名、30年度が863名、「産直軽トラ市&フリーマーケット」の来場者数は29年度2029名、30年度が1730名、「TEGAスタンプラリー」の応募数は29年度2148件、30年度2490件で実績は伸びている。

再質問 市の観光ポイントについてビジョンと訴求方法についてはどうか。
環境経済部長 お薦めの観光スポットとして吉高の大桜、別所の獅子舞、浦部の神楽など、たくさんある。

訴求方法として、市のホームページ、観光情報誌まっぷる印西や印西市観光情報館の活用などで情報発信に努め、訪問客増を図る。

個人質問

問 避難勧告は誰が行うのか

答 被害の状況を踏まえて市長が行う
梶原 友雄 議員

質問 避難勧告発令はどの時点で出されるのか。
総務部長 震災の場合の避難勧告については、地震による火災の拡大やがけ崩れ等で市民の生命に危険が認められるときに発令する。

浸水が予想される場合には、利根川氾濫警戒情報が発表され、河川の水位や気象状況により浸水被害が発生するおそれのある時に避難勧告を発令する。
また、土砂災害が予想されるときは、土砂災害警戒情報が発表された場合や、大雨警戒情報が発表されている状況で、記録的短時間大雨情報が発表された場合等に発令する。

再質問 避難勧告が発令された場合、今回のような台風などにより道路冠水した場合、避難にも影響があるのではないか。ニュー

タウン地区についても冠水箇所が多く、そのような冠水も含めたハザードマップの見直しが必要だと思いがどうか。
答 ニュータウン地区の冠水要因については、落ち葉などによる排水溝のつまりや下水道の雨水排水の能力を超える降雨があった場合、又は開発行為による地形の変化などが生じた場合など、様々な可能性があることから、道路冠水を含めた内水ハザードマップの見直しも検討していき



問 市役所の移転等を考えるべきでは

答 現時点では考えていない

軍司俊紀議員

質問 総合計画と公共施設配置について

次期総合計画の策定に向けて、どのような方針で考え、将来都市像を掲げ、政策の実現を図っていく中で、市役所の配置を問う。

市長 現在の建物の長期利用を図り、建替えの際には立地場所も含めて検討する。

再質問 今後10年間、市役所



市役所庁舎

は、構造的に耐えられるのか。

総務部長 築43年を経過しているが、2010年に耐震補強と大規模改修工事を行い、長寿命化の対応も完了し、十分に耐えうる。

再質問 大地震、洪水などの大きな災害が起きた時、市役所庁舎は機能するのか。

答 種類や規模にもよる。市役所本庁舎には停電時に備え、75時間程度は電力を供給できる非常用自家発電設備を備えているので、機能を維持できる。

再質問 市役所庁舎の建替えや移転等について、次期総合計画に盛り込んで進めるべきではないか。

答 公共施設等総合管理計画の基本方針で施設の長期利用を図ることになっている。現時点では、次期総合計画の中に建て替えや移転の方向性を盛り込むことは考えていない。

問 グリーンインフラ里山課を提案

答 各課で全庁的に取り組んでいく

増田葉子議員

個人質問

質問 「グリーンインフラ」という言葉が注目されている。

自然のもつ機能を生かした河川事業や公園づくりなど、国も戦略的に取り組みはじめている。印西市は、充実した都市機能と豊かな自然をもっている。「これからも住み続けたい」理由として市民がもっとも多くあげているのは、自然環境や公園の緑が多いことだ。市民の声に応えて、グリーンインフラや里山をまちづくりの柱として戦略的に取り組んでいくべきではないか。



市内の里山風景

環境経済部長 魅力あるまちづくりを進めていく上で、グリーンインフラの取り組みを踏まえなければならぬものと認識している。

再質問 グリーンインフラは、環境保全や都市計画、防災、農政など複数の課が関わる。印西市で取り組むとしたら、どの分野が関わるか。

企画財政部長 第二次基本計画の六つの基本目標すべてに関わりをもつと認識している。

再質問 グリーンインフラはすべて目標に関わる大事な政策ということになる。森林環境税の活用も迫られているし、これから開発を進める印旛中央地区もある。グリーンインフラを推進する担当課をつくらないか。

市長 グリーンインフラの概念を取り入れ、関係各課において全庁的に取り組んでいくべきものと考えている。

問 拠点検討含め魅力的まちづくりを

答 時代のニーズに対応し魅力を発揮

松尾榮子議員

質問1 第2期まち・ひと・しごと総合戦略は、次期総合計画と一体的に策定とのこと

で、次期総合計画はますます重要。現市庁舎が建設された昭和52年当時に比べ、人口は5倍以上、市域も2倍以上になった。企業・商業が集積し市民が集まる場所を拠点にすれば、ふれあいバスのルートも各地区の市民が用事や買い物に動きやすく機能的で魅力的な都市が作れる。これらを検討し真に魅力的なまちづくりを進めるのか、市長のまちづくりへのビジョンを伺う。

市長 千葉ニュータウン事業を完遂し新たなまちづくりへ舵を切る中で時代のニーズに対応した計画を策定したい。市の魅力を最大限発揮し総合力の高いまちづくりに先頭に立つて取り組んでいきたい。

質問2 災害時には地区の行政施設は状況把握や情報発信



ニュータウン中央駅周辺のマンション群

等、現地の対策拠点となる。支所・出張所等には非常用発電設備が必要ではないか。

総務部長 拠点となるべき施設について設置の必要性等も含めた検討をしていきたい。

再質問 これまでも質問してきた地区拠点防災資機材備蓄倉庫の整備は進んでいるか。

問 「住みよさランキング」をいかせ

答 今後のまちづくりに生かしていく

金丸和史議員

個人質問

質問 2019年「住みよさランキング」8年連続全国1位とならなかつた結果をどのように分析したのか。

市長 今回は、指標が大幅に変更されたことにより、全国14位という結果となった。新たに加わった「人口当たり犯罪認知件数」「人口当たり飲食店数」「人口当たり財政歳出額」という指標が、順位に影響があったものと分析している。

再質問 逆に、この3指標の項目を改善していけば、順位は上がっていくのではと考えますが、人口当たり犯罪認知件数についてデータの分析し、今後の方策は考えられないか。

市民部長 「人口当たり犯罪認知件数」は年々減少傾向にあるが、この中で「自転車盗」の全体に占める比率が増加傾向にあり、この対策を行うこ

とが、有効だと考えている。

再質問 「人口当たり財政歳出額」については、今後どのように考えていくのか。

企画財政部長 公共施設の大規模改修、扶助費の増加、一部事務組合への負担増等が今後見込まれるため、基金の涵養に努めたい。

再質問 この指標を今後のまちづくりに生かせないか。

答 今後、市民の皆様に住みよさを実感していただくための一つの改善点として生かしていきたい。



個人質問

問 災害発生時の公助はどうだったか

答 概ね適正に機能した

小川利彦議員

質問1 災害発生時に災害対策本部は機能していたのか。

総務部長 総合的な窓口を設置し、概ね適正に機能した。

質問2 防災上の観点から印旛沼やその周辺の利活用について検討しているか。

総務部長 検討していない。

再質問 印旛沼をダムに見立て、水位を下げるような取り組みを近隣市町へ働きかけられるべきではないか。

答弁 その考えはない。

再質問 印旛沼周辺を遊水池として、利活用することを考



満水で危険な印旛沼

えるべきではないか。

答弁 現在のところ考えていない。

質問3 令和元年度の成人記念式典の記念品と予算についてはどうなっているか。

教育部長 税別800円程度で、品物は運営会議で決定している。

再質問 運営スタッフが記念品選定から関わることはできないか。

答弁 選定に関われるよう検討する。

質問4 牧の原学校給食センター改修工事中の給食提供はどうなるのか。

教育部長 給食に替わる食事等の提供を想定し、検討している。

再質問 牧の原学校給食センターは約3千食となるが、弁当等を用意できるのか。

答弁 提供が可能な業者を確認している。

個人質問

問 避難所に非常用電源を備えるべき

答 必要電源量等を見極め検討する

藤江研一議員

質問1 電力復旧まで長時間かかる事態に備え、避難所に非常用電源を備えるべきでは。

総務部長 非常用電源は必要と考えるが、電源必要量や必要性を見極めながら検討する。

再質問 被災者所有の携帯端末充電について場所の周知も含めマニュアル化できないか。

答弁 充電情報周知や充電対応は大切であり、ルールを定め円滑な対応に努めたい。

質問2 台風15号の際に停電地域に居住されていた高齢者等支援者数と、対応は。

福祉部長 49名で、民生委員・児童委員が訪問し、避難所への誘導等を行った。職員も訪問、安否確認、支援助物資支給、情報提供を行った。

再質問 乳幼児のいる世帯数と対応は。

健康子ども部長 把握していない。訪問による被害状況確認等も行っていない。



避難誘導

再質問 把握や対応の在り方について検証が必要では。

答弁 他市実施状況を参考に配慮の必要な乳幼児の把握や対応方法など調査研究したい。

質問3 学習機会に恵まれない子供の学習支援事業の状況はどうか。

市長 9月より実施し、参加児童・保護者から「成績が上がった」、「家より勉強がはかどる」などの感想が寄せられている。今後も効率的で効果的なものとなるよう取り組んでいきたい。

陳情

陳情第1—6号

▼政治犯罪の為、千葉県内司法及び行政共謀の無罰拘束【刑事訴訟事件】内乱事件としたため全事件解明に求めて
(議員配布)

陳情第1—7号

▼「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の採択を求める陳情書
(議員配布)

世界で唯一の戦争被爆国として、一刻も早く核兵器禁止条約に署名、批准することを強く求める意見書の採択を求めるもの。



絹織物の町 桐生市

電動コミュニティバスで

重要伝統的建物群を巡る

印旛管内市議会正副議長連絡協議会 視察研修報告

令和元年11月14日から15日に印旛管内7市議会の正副議長による視察研修会が、群馬県桐生市において実施されました。

参加市は、成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市です。

桐生市議会 議会改革

情報発信の推進

*議会報告会・意見交換会

平成23年7月

定例会ごとに実施

*多様なメディアの活用

平成25年10月

・FM放送にて議会放送番組の発信

・議会独自のツイッターやフェイスブックを開設

市民の声を市政に

*委員会提出議案

*委員会政策提言発表会

*まちづくり討論会

市民の声を議会運営に

*議会モニター

低速電動コミュニティバス

【まゆ、MAYU】

桐生市の委託を受けた(株)桐生再生が土日祝日に運行している低速電動コミュニティバス(愛称:まゆ、MAYU)が、無料で市内の主要スポットを巡ります。赤・青・緑・黄色。カラフルで可愛い4台のバスは、環境に優しいだけでなく、昇降ドアや窓ガラスのないオープンな構造で開放感に溢れる車両です。低速(時速19km)でゆっくりゆっくり走り、観光に訪れた人は、ガイド(運転手)さんの説明を聞きながら、重要伝統的建物群地区の街並みをじっくりと堪能できることでしょう。



請願・陳情書の提出ができます。詳細は議会事務局まで。



国民健康保険税の限度額引き上げへ

【議案第6号 印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】平成31年4月1日施行、地方税法施行令の一部改正により、国民健康保険税の基礎課税額の限度額が引き上げられた。

この改正に伴い、令和2年4月1日から、本条

例の基礎課税額の限度額を58万円から61万円に改める。

限度額の引き上げによる影響は、

7月に課税決定した令和元年度の

本算定ベースで試算したところ、この改定により約570万円の税収増となる。

【議案第35号指定管理者の指定】

【内容】印西市市民活動支援センターの指定管理者を株式会社東京ドームファシリテーズに指定する。

これまでの5年間の実績と、利用

登録団体数の増減はどのようになっているか。

1年目の平成27年度は8582人

は、1万4045人と、およそ約1.5倍の増加である。また、団体数の登録数では、27年度は107団体で、30年度は152団体となり、およそ1.5倍の増加である。

【審査結果】

番号	件名	結果
議案第2号	印西市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第4号	印西市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第11号～35号	指定管理者の指定（青年館、構造改善センター、集会所、市民活動支援センター）	可決
議案第41号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第42号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第43号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

総務企画常任委員会



補正予算の審査 予算審査常任委員会

印西市一般会計補正予算 (第4号) (可決)

歳入歳出それぞれ4億7453万5千円を追加し、予算総額を385億8924万8千円とするもの。

主な補正内容と質疑について

問 学習指導要領の改訂に伴い、教師用指導書等の購入費2714万1千円を増額補正

答 令和2年度から使う小学校教師用の指導書とすべての教科の教科書の購入費。

問 西の原中学校における防災倉庫の工事費140万8千円を増額補正

答 防災井戸の工事に伴い、当初予算に含まれていない防災倉庫移設のための費用。

台風15号からの一連の災害対応を迅速に

住宅支援事業の実施に伴い5千万円を増額補正

問 増額補正の積算根拠と今後の対応を伺う。

答 12月6日時点の居宅に関する罹災証明書発行件数は、231件である。内訳は、全壊4件、半壊9件、一部損壊が218件である。1件当たり補助額の上限が50万円であり、100件分として積算している。今後の補助の実施について、県からは令和2年度も実施すると聞いている。当市としても、状況を見て2年度も行うことを検討していきたい。



農業者支援事業の実施に伴い2億7961万5千円を増額補正

問 対象となった施設について伺う。

答 農業ハウス、果樹棚及び農業用倉庫の再建修繕、農機具などの再取得、修繕などが対象である。件数は、現在受け付けている段階で、パイプハウス約180件、鉄骨ハウス17件、農機具庫13棟、果樹棚・防災網等が8件。全体で、200件以上の施設が被災している状況である。



松崎台公園ののり面復旧工事費3千万円を増額補正

問 工事内容を伺う。

答 幅20メートル高さ8メートルの崩れた斜面の部分を、人工的にのり面を形成しながら復旧する。

印西市国民健康保険特別会計 補正予算(第1号) (可決)

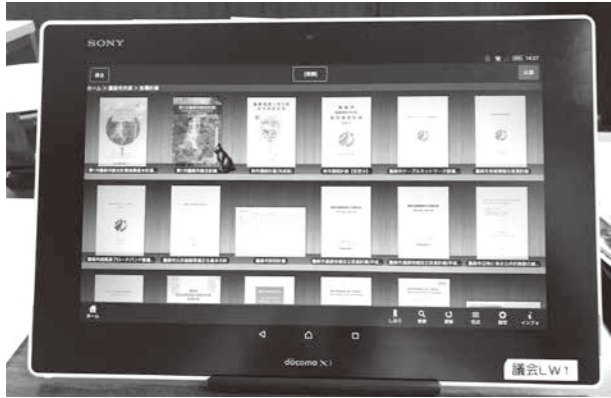
歳入歳出それぞれ1億6593万2千円を追加し、予算総額を87億7160万3千円とするもの。

印西市下水道事業特別会計 補正予算(第2号) (可決)

歳入歳出それぞれ222万5千円を追加し、予算総額を18億554万6千円とするもの。

印西市介護保険特別会計 補正予算(第3号) (可決)

歳入歳出それぞれ212万5千円を追加し、予算総額を54億8985万2千円とするもの。



議会運営委員会では、令和元年10月3日から4日まで、**福岡県嘉麻市・山口県下関市**にて視察研修を実施しました。今回は、「議会ペーパーレス化事業について」がテーマです。タブレット端末の本格稼働開始に至るまでの経緯と今

議会へのタブレット導入に向けて

議会運営委員会

の状況について情報収集するため、先進地区であるこの2市を、選定しました。両市とも、既にタブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入し運用しています。2市のタブレット端末導入までの経緯、活用範囲、調達方法等及び削減効果についての説明を受け、印西市議会にも、早急にタブレットを導入するべきであると強く感じました。そのために、綿密な計画を立て、議員、事務局、執行部と調整を図りしっかりと段取りを踏んで、導入に向けて準備ができればと思います。今回2市を視察させていただきましたが、印西市議会に



導入するとすると、嘉麻市の方法が適しているのではないかと考えます。まずは、活用範囲を明確にし、実現に向けてインシヤルコスト、ランニングコストを検討する必要があります。これらをしつかり検討し、議会へのタブレット端末導入に向けてスケジューリングしていければと思います。とても有意義な視察でした。



令和元年11月6日(水)、山形県米沢市議会会派「二新会」5名と会派「公明クラブ」2名が視察に訪れました。視察内容は、「都市マスタープランに基づく都市づくりについて」でした。板橋議長から歓迎の挨拶、都市計画課の担当者が事業説明を行いました。

山形県米沢市議会

視察に来庁

令和元年第4回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、— =その他 ※議長(板橋 睦)は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	板橋 睦	近藤 瑞枝	山田 喜代子	金丸 和史	軍司 俊紀	松尾 榮子	増田 葉子	藤代 武雄	中澤 俊介	海老原 作一	岩崎 成子	浅沼 美弥子	櫻井 正夫	米井 重行	玉木 実	小川 利彦	稲葉 健	伊藤 真一	松本 有利子	藤江 研一	梶原 友雄	柿原 健一		
《議案》(市長提出議案)																										
議案第3号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	指定管理者の指定(印西市立中央老人福祉センター、印西地域福祉センター、印西市立子どもふれあいセンター)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	指定管理者の指定(印西市立木刈学童クラブ、小倉台学童クラブ、小倉台第2学童クラブ、小倉台第3学童クラブ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和元年第4回定例会 全会一致(可決・適任)議案一覧

番号	件名	番号	件名
《議案》(市長提出議案)			
議案第1号	印西市空家等の適切な管理に関する条例の制定	議案第22号	指定管理者の指定(平賀地区構造改善センター)
議案第2号	印西市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定	議案第23号	指定管理者の指定(吉高地区構造改善センター)
議案第4号	印西市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	議案第24号	指定管理者の指定(萩原地区構造改善センター)
議案第7号	令和元年度印西市一般会計補正予算(第4号)	議案第25号	指定管理者の指定(松虫地区構造改善センター)
議案第8号	令和元年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	議案第26号	指定管理者の指定(岩戸地区構造改善センター)
議案第9号	令和元年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	議案第27号	指定管理者の指定(師戸地区構造改善センター)
議案第10号	令和元年度印西市介護保険特別会計補正予算(第3号)	議案第28号	指定管理者の指定(鎌苅地区構造改善センター)
議案第11号	指定管理者の指定(多々羅田青年館)	議案第29号	指定管理者の指定(大廻地区構造改善センター)
議案第12号	指定管理者の指定(宗甫青年館)	議案第30号	指定管理者の指定(造谷地区構造改善センター)
議案第13号	指定管理者の指定(結縁寺青年館)	議案第31号	指定管理者の指定(吉田地区構造改善センター)
議案第14号	指定管理者の指定(小林新田青年館)	議案第32号	指定管理者の指定(平賀学園台集会所)
議案第15号	指定管理者の指定(宮内青年館)	議案第33号	指定管理者の指定(吉高台集会所)
議案第16号	指定管理者の指定(柏木台青年館)	議案第34号	指定管理者の指定(若秋三丁目集会所)
議案第17号	指定管理者の指定(寺台青年館)	議案第35号	指定管理者の指定(印西市市民活動支援センター)
議案第18号	指定管理者の指定(高花青年館)	議案第36号	指定管理者の指定(印西市立福祉作業所コスモス)
議案第19号	指定管理者の指定(瀬戸地区構造改善センター)	議案第37号	指定管理者の指定(印西市立クリオネクラブ)
議案第20号	指定管理者の指定(仲井地区構造改善センター)	議案第41号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第21号	指定管理者の指定(宮後地区構造改善センター)	議案第43号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
		諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること

サイクルシティ構想などを学ぶ

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会では、令和元年10月9日から11日まで、香川県坂出市・愛媛県今治市・徳島県三好市にて視察研修を実施しました。

坂出市「都市計画（線引き廃止）について」

印西市は、令和3年度に向



けマスタープランを作成中です。今回の視察はとても参考になりました。

今治市「サイクルリングでの観光振興、サイクルシティ構想について」

サイクルリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」として、今治市には国内外から多くのサイクルリスト（自転車愛好家）が訪れています。一方、印西市は、歴史的建造物や豊かな自然環境に恵まれています。観光としての目玉がありません。今回は、サイクルリング施策の経緯と今の状況について情報収集を行いました。とても素晴らしいプロジェクトで、リーダー的な役割の人がいるとプロジェクトが成功



し、ひとつ事が動きだすとそれに付随する様々な事業が動き出すという良い例でした。

三好市「休廃校を利活用した地域経済・観光事業について」

当市でも、現在小学校3校が閉校になりましたが、活用方法がまだ確定されていません。急激な人口減少の中で、休廃校の小学校を活用して新たな事業が成り立つ事例を聞き、大変参考になりました。

山形県最上 市町村議会議長会 視察に来庁

令和元年11月12日（火）、山形県最上市町村議会議長会議員7名、事務局1名が視察に訪れました。

視察内容は、「議会の活性化、魅力ある議会づくり」でした。

板橋議長から歓迎の挨拶、議会事務局の担当者が事業説明を行いました。

大阪府泉佐野市議会 視察に来庁

令和元年11月12日（火）、大阪府泉佐野市議会閑空りんくうまちづくり特別委員12名が、グッドマナビジネスパークの視察に訪れました。

視察内容は、「新住宅市街地開発事業について」でした。

板橋議長から歓迎の挨拶、都市計画課の担当者が事業説明を行いました。

高齢者居場所づくり

子育てアプリ等を研修

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は、10月23日から25日まで愛媛県伊予市、香川県丸亀市及び高松市を先進地視察しました。

伊予市では、スマホアプリ「健康マイレージ」による健康ポイント事業を視察。参加



者の健康増進のため、ランキング機能、写真機能など参加者が楽しめるアプリを搭載。高齢者や就労世代など地域全体で取り組める内容でした。

丸亀市では、子育てアプリまる育サポートとして、親子イベント等の配信、医療・子育て機関の検索、子育て情報等の配信・閲覧機能を提供。また、妊娠期から子供が18歳になるまで子育て支援の専門員が相談に応じサポートする仕組みを構築。ワンストップ相談窓口や各種専門員の確保など印西市の課題検討の参考になりました。

高松市では、高齢者の居場所づくり事業について、介護予防や健康増進、世代間交流



など参加者同士の様々な活動の拠点づくりを研修。地域共生社会構築事業については、育児と介護のダブルケアなど世帯単位で複数の課題を抱える方へのまるごと支援の取組みを研修。交流活動への助成、まるごと支援員配置など印西市にない取り組みが参考になりました。

三市の熱意溢れる取り組みを印西市のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

表紙の写真



市内の小学校6年生が、TBSと国会議事堂を訪れました。社会科学の授業でちょうど立法、行政、司法を勉強しているところでした。

TBS社屋では、日頃テレビで観ているNスタのスタジオに入り、ニュースや天気予報の撮影の仕組みを体験しました。

国会議事堂では、子どもたちからの踏み込んだ質問に説明員がたじたじに。事前勉強の成果です。

みんなの輝いている目が印象的でした。やはり、実際に見て、触れて、感じる事が大切ですね。

シリーズ 新人議員のコーナー

平成31年4月の市議会議員選挙により、4名の新人議員が誕生しました。初めて議会を経験した4名は、どのような点に気づき、どのような感想を抱いているのでしょうか。それらを皆さんに新鮮な感覚で伝えてもらうシリーズ。今回から4回にわたりお送りします。
第1回は、松本有利子議員です。

私が 議員になって分かった「議会」

市議会議員は
22人。

議会は年4回、
約106日。

議会は気軽に傍聴
できる。
出入り自由。

議会は意外と身近な存在です。議員になる前は、私自身も周りの人も、議会に興味がなかったり、議会に間違ったイメージを持っていました。もっと議事を身近に感じてもらえたらと思い記事にしました。

市役所5階に議場がある。

Q. 市民は市や議会に直接
意見を届けられない？

市長や議員と親しい人の声
が届くの？

A. すべての人の声が届く。

例えば、「市長談話室」「市政
ポスト（市長への手紙）」など
もあるが、議会に請願書を提出
し、議会が認めれば市が具体的
に取り組む。

今回は、藤江研一議員にバトンタッチ！

Q. 議員は特別な人なの？

A. 議員は全員身近な存在。

議員は皆、あなたの相談をいつでも待っ
ている。地域に関わりたくいと、身近な場
所で地域活動をしている人も多い。

Q. 議員の基本的な仕事は何？

A. 議員の主な役割は、
市が提案した政策や予算等をチェック
すること。
議員自ら政策を提案すること。

委員会視察報告



令和元年10月29日から31日
まで広島県東広島市、山口県
山口市、福岡県筑紫野市を視
察しました。

◎東広島市
地域の課題等に総合的また
柔軟に対応するため、「地域
を代表する組織づくり」を目

指している。住民個人のほか、
自治会、各種団体、市民活動
団体、地域の学校、企業、事
業者などが集まり、地域全体
で課題解決を図っていくこと
を目的とした取り組みを行っ
ていました。

◎山口市
持続可能な公共交通を形成
するため、コミュニティ交通
の運行支援として、地域内を
きめ細かく廻り地域の中心地
や駅、バス停までを結ぶ、コ
ミュニティタクシー事業を行
っている。市民と事業者及び
行政が一体となり、安心して
住み続けられる、車に頼りず
ぎないまちづくりのため、事
業の効率及び仕組みづくりに
取り組んでいました。

職員による市政に関する提
案を奨励し、職員の施策立案
能力と自己実現意欲の向上を
図り、市政の能率的な運営
と、市民サービスの向上に資
することを目的に、職員施策
提案の取り組みを進めていま
した。

◎筑紫野市
各市の取り組みを参考に印
西市においても、有効に活用
し、これからのまちづくりに
参考となる視察となりました。



地域コミュニティを守るために

総務企画常任委員会

編集後記

2020東京オリンピック・パ
ラリンピック開催の年を迎えまし
た。世界中から多くの方々がか千葉
県に、印西市に來られることと思
います。

美しい日本と温かいおもてなし
を味わっていただけたら嬉しいで
すね。そしてできれば、その取り
組みが一過性に終わることなく、
持続可能であれば一層嬉しいです。
一年を振り返って、一歩でも前
に進むことができた年、市民の皆
様全員がかけがえのない存在だと
感じられた年、心に残る年になれ
ば幸いです。
(藤江)

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 近藤 瑞枝 |
| 副委員長 | 海老原 作一 |
| 委員 | 梶原 友雄 |
| ” | 藤江 研一 |
| ” | 伊藤 真一 |
| ” | 稲葉 健 |
| ” | 増田 葉子 |

『発展と繋がり』

印旛明誠高等学校

3年 山本 結衣



印西市で生まれ育って18年。私のふるさととは大きく姿を変え、今も成長し続けています。私が思い出せる中で、一番古いふるさとの景色は原っぱです。私の小さい頃、印西市は現在よりも人口が少なく、まだ大型のショッピングモールも建っていませんでした。10年前と現在では大きなギャップがあり、印西市の発展が感じられます。当時の私が毎年楽しみにしていたのは、地元のお祭りです。一つの公園に地元の人がほぼ全員集まり、屋台や花火などで盛り上がるのです。近所の一大イベントとして、年齢問わず親しまれていました。しかし、私が中学2年生の頃、お祭りはなくなってしまいました。理由は、人口増加に伴い、自治会だけではお祭りを回せなくなってしまうとのことでした。

私は、今の活気ある印西市が大好きです。他の地域に住んでいる人もわざわざ足を運んでくれるような、魅力ある地域に成長した印西を誇りに思います。しかし、その反面、地域の人たちとの繋がりは昔より薄くなってしまうように思います。地域の発展と同じように、人と人との繋がりををもっと伸ばしていけたら、印西市は今以上にすばらしい市になると思います。

議会を傍聴してみませんか

第1回定例会 会期予定及び日程

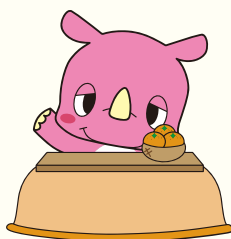
第1回定例会は、2月18日(火)から3月19日(木)までの会期予定です。

本会議は午前10時からとなりますので、市役所5階議場にお越しください。

なお、都合により変更になる場合があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎ 0476(33)4614



いんざい君© 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
2/9	2/10	2/11 建国記念の日	2/12 議会運営委員会	2/13	2/14	2/15
2/16	2/17	2/18 本会議(議案上程)	2/19 本会議(会派代表質問)	2/20 本会議(会派代表質問)	2/21	2/22
2/23 天皇誕生日	2/24 振替休日	2/25 本会議(個人質問)	2/26 本会議(個人質問)	2/27 本会議(個人質問)	2/28 本会議(個人質問)	2/29
3/1	3/2 予算審査常任委員会	3/3 予算審査常任委員会	3/4 予算審査常任委員会	3/5 予算審査常任委員会	3/6 予算審査常任委員会	3/7
3/8	3/9 総務企画常任委員会	3/10 文教福祉常任委員会	3/11 建設経済常任委員会	3/12	3/13 本会議(議案の採決)	3/14
3/15	3/16	3/17	3/18 議会運営委員会 正副委員長会議	3/19 本会議(議案の採決)	3/20 春分の日	3/21